

和華蘭の窓

2021.8 No.143

経済学部分館 リニューアル!!

新経済学部分館の見どころ探訪

2-3

経済学部分館改修完成記念式典／長崎学資料展示室

4

経済学部分館長挨拶

5

附属図書館長就任挨拶

6

医学分館長就任挨拶／topics（ベストリーダー表彰式）

7

information

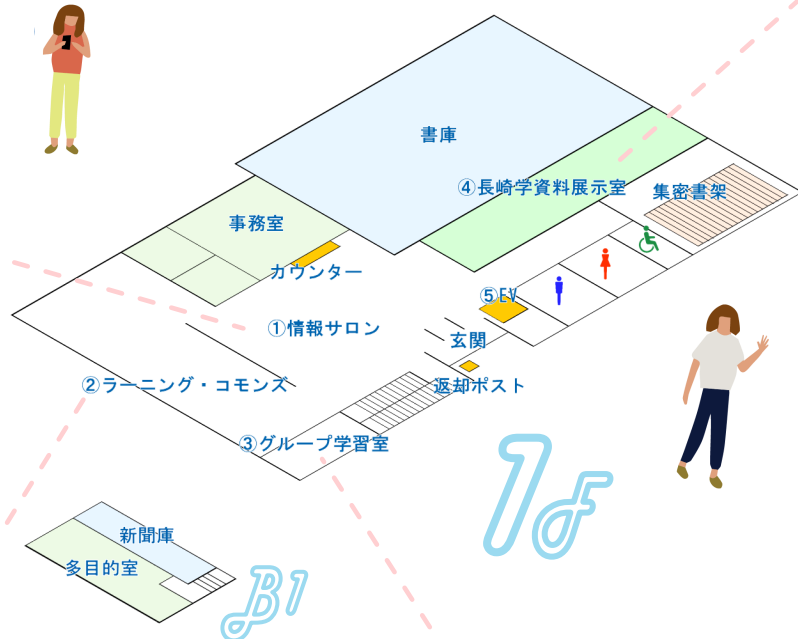
8

新 経済学部分館 の見どころ探訪

今号は6月23日にリニューアルオープンした経済学部分館を大特集! 学生みなさんに活用してほしい館内の新たなスペースや完成記念式典の様子など、生まれ変わった経済学部分館をご紹介します。



情報サロン には新着雑誌がずらりと配架されています。PC、コピー機も設置されていますので皆さまの学習にお役立てください。このスペースは館内で唯一飲食可能なエリアです。(それ以外の場所は密閉のできる蓋付きの水筒・ペットボトルのみ持込可)



ラーニング・commons は会話が可能となっていて、グループ学習におすすめのエリアです。ファミレス風のソファ席もあります。プロジェクターを使った学習会に使用することもできます。



グループ学習室 は予約制の個室で、プレゼン練習やWeb面接に使用することもできます。積極的に利用してください。



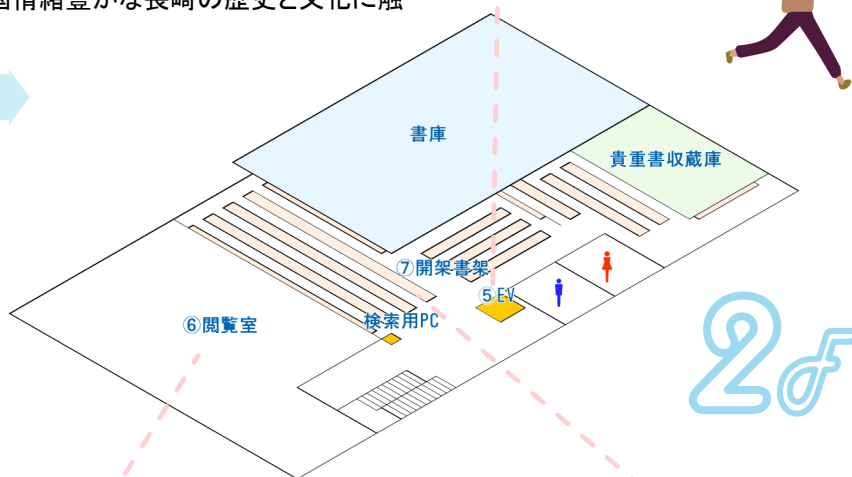


長崎学資料展示室 は武藤文庫主要資料を中心とした長崎関係資料や、経済学の古典・対外交渉史資料を展示しています。異国情緒豊かな長崎の歴史と文化に触れることができます。

詳しくは次ページを参照



エレベーター を整備しました。バリアフリーへの取り組みの一環です。



閲覧室 は南東西3面に窓を有する開放的な利用空間となりました。閲覧席は103席ありますが、そのうち15席は窓際のカウンター席となっています。明るい陽ざしを感じながら、じっくりと学習することができます。



開架書架 は約5万5千冊の収容能力があり、一箇所に集約させて利便性を高めました。背の高い書架になっていますので、上の段の資料を取るときには手すり付きステップをご利用ください。

経済学部分館改修完成記念式典



令和3年6月23日(水)、経済学部分館の改修を記念して、完成記念式典を開催しました。

河野茂学長、浜田久之附属図書館長の挨拶のあと、テープカットが行われ、梅雨の時期とは思えないほど快晴に恵まれた中、無事にリニューアルオープンの日を迎えることが出来ました。

当日は、河野学長にご揮毫いただいた「長崎学資料展示室」の看板除幕式も同時に執り行いました。

新しく生まれ変わった経済学部分館は、アクティブラーニングの実践に効果的なラーニング・コモンズも新設され、学習支援機能を強化するとともに、バリアフリーに配慮した明るく快適な空間を提供しています。長く愛される図書館になるようにスタッフ一同頑張りますので、皆様ぜひご利用ください。

写真上: テープカット。左から南森経済学部分館長、浜田図書館長、河野学長、深浦経済学部長、森満晴菜さん(学生) 左下: 長崎学資料展示室看板除幕式後。左から浜田図書館長、河野学長 右下: 河野学長による祝辞



長崎学資料展示室

長崎学資料展示室は、長崎学発展の拠点化を担うべく武藤文庫や長崎高商から伝わる当館貴重資料のうち、長崎にちなんだ資料を展示しています。

武藤文庫は、“長崎学三羽ガラス”と言われていた長大経済学部的前身長崎高商教授だった武藤長蔵先生の約1万点におよぶ旧蔵品コレクションです。川原慶賀伝「長崎出島之図」、「鳴滝塾舎之図」、シーボルト自身の書込がある出島で印刷されたシーボルト著「日本からの公開状」など貴重な資料が多数あります。長崎高商由来の

資料には、幕末の長崎市中を描いた縦約3.5m、横約4.5mの大型古地図「長崎箇所割大地図」や、長崎市史には原本不明とされていたが最近発見された「慶応元年明細分限帳」(いわゆる長崎地役人名簿)原本等を展示しています。展示品をリアルに見て、自身のスマホでバーチャルに本をめくって読むこともでき、展示品に関連したクイズを解くとさらに長崎学の知識を身につけることができます。図書館開館時間中は自由に見学できますので、是非展示室に足を運んでください。

経済学部分館リニューアル開館によせて

経済学部分館長 南森 茂太

長崎大学附属図書館経済学部分館は令和3年6月23日に改修完成記念式典を開催し、無事にリニューアルオープンの日を迎える事ができました。この日を迎えることができたのは改修をご決断いただいた河野茂学長、改修に際して貴重な助言をしていただきました増崎英明前館長、赤石孝次前分館長はもちろんのこと、すべての長崎大学人のご協力の賜物と思っております。本当にありがとうございました。

また、改修工事により昨年度後半は図書館が普段通りに利用できず、特に学生の皆様にはご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。そのような困難な状況の中でも、大学の「心臓」である図書館機能が停止することないように、仮設図書館を運営いただいた分館の職員の皆様方にも改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、江戸時代の長崎はヨーロッパや中国との交流拠点として栄えました。この町で外交や貿易の担い手となったのは阿蘭陀通詞や唐通事に代表される地役人たちですが、彼らは実務を担うのみならず、来日外国人から様々な学問や技術を学んでいきました。また、このような地役人のもとには日本各地から遊学者が集まり、彼らもまた自らに「知」を蓄積していきます。つまり、江戸時代の長崎は町そのものが「知の倉庫」であったと言えます。

もちろん遊学者たちは長崎において、互いに交流を深めていきます。そして、この知的交流は彼らの蓄積した「知」をより磨いていくことになります。さらに遊学者たちは遊学を終えると、出身地などで自らの「知」を現実社会の改良に役立てようとしていきます。すなわ

ち、長崎の町は「知の交流拠点」でもあり、「知の発信拠点」としての役割をも果たしたのでした。

ところで、皆さんは図書館にどのようなイメージを抱いているのでしょうか。多くの方は図書や資料を収集し、これらを用いて自らの「知」を蓄積する「知の倉庫」という印象を抱くのではないのでしょうか。このことはもちろん図書館の重要な役割であり、今後も変わることではないと思います。しかしながら、それだけが図書館の役割であるならば、少し寂しい気もします。知的交流を深める場所として、さらにはこれを内外へ向けて発信していく場所として利用することで、図書館はより充実した施設になると考えるからです。

今回の改修により、分館の1階にラーニング・コモンズが新設され、またグループ学習室も移設されました。ここを「知の交流拠点」、「知の発信拠点」としていくことで、分館は本当の意味での「リニューアル」を迎えることになります。そして、その変革をリードするのは学生の皆さまです。このことが浜田久之館長の掲げる「学生ファースト」の図書館を実現する第一歩となるからです。

最後になりますが、改修により旧武藤文庫展示室は、長崎学資料展示室に名を改め、こちらもまた1階へと移設しております。長崎学に関する貴重資料を見学し、そして「知の倉庫」・「知の交流拠点」・「知の発信拠点」であった江戸時代の長崎に思いを馳せていただければ幸いです。

私のおススメ本



『今と昔の長崎に遊ぶ』

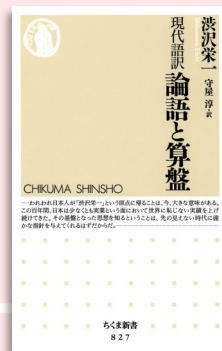
増崎英明編著, 長崎大学地域文化研究会著 九州大学出版会 2021年

本学のプロフェッショナルがこれまで「蓄積」した長崎学に関する「知」を研究会で「交流」を深め、世に「発信」した一冊です。分野横断的な研究成果でもあり、様々な視点から長崎を学ぶことができます。

『論語と算盤：現代語訳』

渋沢栄一著, 守屋淳訳 筑摩書房 2010年

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一が築き上げようとした理想の「資本主義」とは? なお、渋沢は大正3年(1914)5月4日に長崎高等商業学校を訪れて、学生に対して講演をおこなっており、その内容を記した『東洋日の出新聞』が、現在長崎学資料展示室で公開されています。



経済分館(新着図書)
図書ID: 3187797
ほか各館に所蔵

経済分館(2F開架)
図書ID: 3170394
ほか中央館に所蔵



図書館長就任挨拶 ～僕と図書館～

附属図書館長 浜田 久之

僕が、大学の図書館に行ったのは、高校生、17才の時だったと思う。

長崎市の立山にある高校生の2年生の夏、部活終わりに、坂をとことこと下り、経済学部図書館へ行った。その頃は、県立図書館も諏訪神社の近くにあったので、学校帰りにどちらかの図書館に行くのは流行りだった。図書館に行けば、“勉強をしていた”という言い訳にもなるし、なにより涼しかったし、なぜか安心できた。

部活や、進路や、恋や、容姿や、親や…いろんなことで思春期の僕はフツーに悩んでいたと思うが、図書館に行くとなぜか安心できた。天井まで積みかかった本の山、運河のように整然と並ぶ書庫の列、古い本の独特の匂い、自習室に注ぐ木漏れ日、蟬の音。思春期の悩みは、図書館に優しく包まれて本の中に吸収されてゆくようだった。僕はいつも心地よい眠りについていたと思う。当然のように、僕は浪人をした。文系から理系へ変わり、予備校を辞め、図書館に缶詰になった時期があった。朝一番に来て、最終時間まで図書館にお世話になった。

何年か経ち、やっと大学生になったが、図書館通いは続いていた。友達のノートを借りてコピーしたり、図書館に集まりテストの情報を交換したり、レポートのネタ本を見つけたり、アルバイトを紹介されたり、ぼーっとしたり。本はほとんど借りなかったが、やっぱり気持ちが落ち着いた。たぶん、それはある種のあきらめ、諦念からくる心の平安だと思う。図書館の圧倒的な本の量、知識の巣窟の中で、自分はなににも勉強してない、無知、無力。自分の一生は、何かを成し遂げて図書館の本1冊になるようなものでないだろうし、ましてや、この図書館の100分の1の本を利用するような人生でもなかろう。自分の小ささを感じ、世の中には凄い人たちがいるという安心感、もっと言えば、人類は僕がいなくても進化し様々な問題を解決してくれるだろうという安堵感。くきっと僕らは、図書館に守られている。大丈夫、だから、好きな方向に、僕は前に進める。こんな感じで、大学の図書館から僕の人生ははじまった。そして、たぶん、君の人生もここからはじまる…ことを願う。

HAMADA Hisayuki

博士(医学)、博士(教育)。2011年より長崎大学病院医療教育開発センター教授およびセンター長、2019年より長崎大学副学長を務める。2021年4月附属図書館長に就任。専門は医学教育およびプライマリケア医療。

私のおススメ本



『死者ゼロの真相』 崎長ライト編 長崎新聞社 2020年

長崎市停泊の大型クルーズ船における新型コロナ集団感染の実録ドキュメンタリー小説です。実は、私が書きました。図書館においでますよ!(^^)!

中央館: 2F開架
図書ID: 1612966
ほか各館に所蔵

『永遠の1/2』 佐藤正午著 集英社 1984年

佐世保市出身の直木賞作家。大学を中退後、佐世保を舞台にして書いたデビュー作。文句なく面白い。私は、佐藤正午のファンで、サインしてもらった本を館長室に飾ってます(笑)。



中央館: 図書書庫1層
図書ID: 1317446



『国宝』 吉田修一著 朝日新聞出版 2018年

長崎市出身の芥川賞作家。話は、長崎市の思案橋あたりから始まります。語り口が上手。長編ですが、話の展開が早いです。一度お会いしていろいろ聞いてみたいです。ね。

中央館: 2F開架、図書ID: 1604370 (上)、1604371 (下)

“長崎大学の”図書館について思う

医学分館長 下川 功



図書館に行かなくなっていて、20年以上になる。PubMedで文献を検索し、論文をダウンロードできるようになったので、行く必要は無くなった。それまでは、Index Medicusで検索した論文を書庫から探し出して、コピーを取っていた。学術雑誌以外の本や資料を図書館で見た記憶はほとんどない。

私は、病理学の実務の中で、希少疾患や鑑別診断を調べるために、成書を必要とする場合がある。電子化された成書も多くあるが、長時間モニターを見るのは苦痛なので、印刷されたものが側にあった方がよい。ただ、疾患概念や診断規約がアップデートされるので、5年も経てば、その種の成書は改訂される。油断すると見もしない本や雑誌が増えてくる。

長崎大学の図書館は、学生の自習室的な役割が大きくなっているのだろう。ある先生が「だったら、書架をもっと片付けて、机や椅子を増やした方がよい」と発言されたことがある。私もそう思う。

おそらく生命医科学域の多くの教員は、電子ジャーナルや電子化された書籍、データベースが利用できれば良くて、建物としての図書館を必要とはしていない。ネットさえ繋がっていれば、学内のどこからでも

図書館が有するコンテンツにアクセスできる。もちろん、歴史的に貴重な資料はあり、実物を保存する場所が必要である。長崎大学にしかない貴重なコレクションを増やしていくことに意味はあるかもしれない。でも、それらは、ミュージアムとしての機能であろう。

以前に比べれば、随分と電子化された情報を利用できるようになった。コロナウイルス感染対策で、講義や会議もネット上で行われるようになった。

稀覯本や研究のための一次資料は別だが、古い本や学術雑誌を保存する必要は医学分館にはないと考える。それらを整理して、さらに、学生の自習室、あるいは教職員が、静かに思考できるような場所として開放する等、図書館に限らず、学内施設の物理的な空間の使い方を改めて考える必要があると思う。

医学分館は、電子化された情報を中心としたバーチャルな図書館をさらに目指してはいかかがか。

SHIMOKAWA Isao

博士(医学)。医学部医学科・大学院医歯薬学総合研究科・病理学分野教授。2021年4月医学分館長に就任。専門は、基礎老化学、実験病理学、人体病理学。

topics

令和2年度ベストリーダー表彰式を開催



2021年3月17日、中央図書館ギャラリーにて、ベストリーダー表彰式を行いました。

この賞は、図書館の図書を多く利用し、自身の学士力及び教養の向上に役立て図書館の活性化に貢献したことを表彰するもので、中央図書館・医学分館・経済学部分館に所蔵する図書の貸出冊数上位の学部学生を表彰するものです。

令和2年度は、貸出冊数が100冊以上の学部学生12名が表彰されました。式当日は3名の方に出席いただき、表彰状と副賞（図書カード）をお渡ししました。

コロナ禍の中でもたくさんの図書を利用し、学生生活を豊かなものとしたみなさんにたくさんの拍手が送られました。

information

中央 夏季長期貸出

- 貸出期間 7/27(火)～9/17(金)
- 返却期限 10月1日(金)
- 対象資料 中央図書館資料のみ

※医学分館・経済学部分館の資料は対象外



始めませんか？『読書貯金』

図書館で「読書貯金」をしませんか？
読み溜めた図書の貸出記録は、1月に
「読書通帳」としてお渡しします。



STEP 1

図書館で
図書を借りる

STEP 2

1月に
「読書通帳」の
作成を申し込む

STEP 3

「読書通帳」
を受け取る

対象は長崎大学にご所属の学生・院生・教職員です。
たくさん読んで、読書貯金しましょう！

図書館公式Instagramはじめました



図書館の日常をお届けします。いいね＆
フォローお願いします！

@nagasaki_uni_lib



中央 プラネタリーヘルス関連図書展示中

プラネタリーヘルス(地球の健康)について考える
きっかけとして、まずは関連の本を読んでみませんか？
1階カウンター前にて現在展示中です。



http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/tenji/tenji_ph2021/

知っていますか？ 学生希望図書リクエスト制度



長崎大学にご所属の学生・院生の皆さん
は、図書館に置いてほしい図書をリ
クエストすることができます。

【学内限定】



冊数や金額の上限等はこちらでチェック！

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/nagasaki-u/gakusei/request/>



＼フォロワー募集中／

図書館公式Twitterで情報発信中

毎日更新を目標に、新たなサービス情報や急な
休館など、図書館の最新情報を発
信しています。ぜひフォローしてくだ
さいね。

@NagasakiUniLib



今号の表紙



今号は新装になった経済学部分館が特集でした。表紙
を飾っているのは1階ラーニング・コモンズで友達(平野
小華さん)と勉強している森満晴菜さんです。リニュー
アルオープンセレモニーで学生代表としてテープカット
をしてもらいました。お二人とも経済学部の4年生、図
書館改修が間に合って良かった。ラーコモや閲覧室、
書架の森を満喫し創造の芽を育ててください。学生の
皆さんを図書館はいつでも応援しています。

和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 第143号 2021年8月1日発行

編集・発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2200 Mail: libnews@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>